



第80期 株主通信 上半期報告書

2023年 4 月 1 日 ▶ 2023年 9 月30日

ニチレキ株式会社

証券コード：5011

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第80期上半期（2023年4月1日から2023年9月30日まで）の概況をご報告申し上げます。

当上半期における我が国経済は、半導体等の供給制約の問題が緩和されたことに加え、インバウンド需要や個人消費の増加、価格転嫁の進展等を背景に企業の業況感が持ち直し、DX関連、人手不足対策等の設備投資も増加する等、景気は引き続き改善基調をたどりました。一方、金融緩和政策の修正を意識した長期金利の上昇、中国等の景気減速懸念など、依然として景気の不確実性を高くする要素も見受けられる状況にあります。

当社グループを取り巻く環境につきましては、防災・減災、国土強靱化対策など建設需要の高まり等を背景に公共投資は底堅く推移しているものの、人件費等の上昇による物価高や円安傾向が継続していることによる原材料価格の高止まり等、今後も原油価格や為替相場の動向等に引き続き注視を要する状況が続いております。

当社グループは、このような環境の中で、迅速かつ確かな意思決定のもと、組織一丸となって持続可能な企業グループとして成長していくことを目指し、3年目となる中期経営計画『しなやか2025』に掲げた各施策に取り組んでまいりました。

当上半期の業績は、売上高は32,285百万円（前年同

期比4.1%減）、営業利益は1,918百万円（同11.9%減）、経常利益は2,351百万円（同3.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,430百万円（同46.0%減）となりました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、今後も厳しい状況が続くことが予想されますが、当社グループは中期経営計画『しなやか2025』の各施策を着実に実行し、業績の向上に努めてまいります。さらに、東京証券取引所の『プライム市場』に上場している企業に相応しいコーポレートガバナンス・コードへの対応など、より高いガバナンス体制の構築にも注力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月

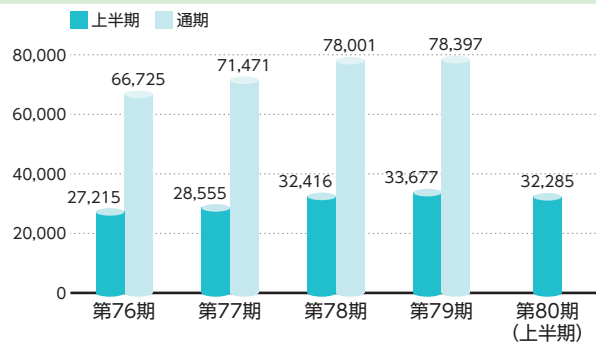


代表取締役社長

小幡 学

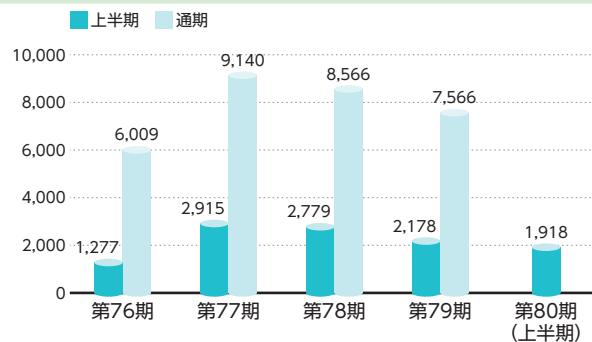
売上高

(単位：百万円)



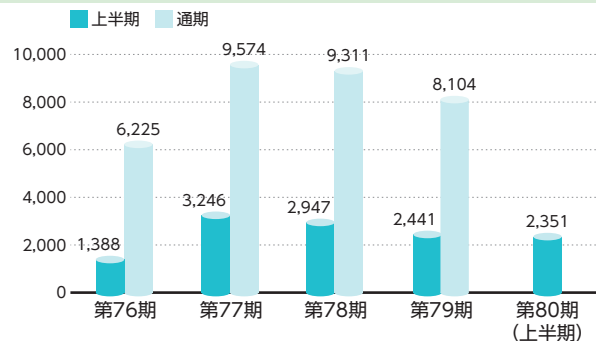
営業利益

(単位：百万円)



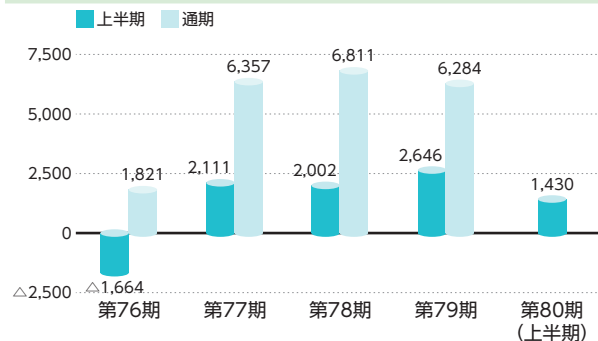
経常利益

(単位：百万円)



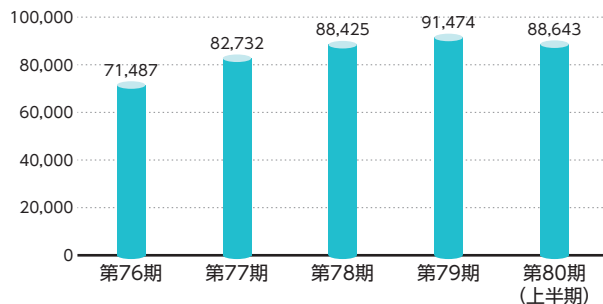
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



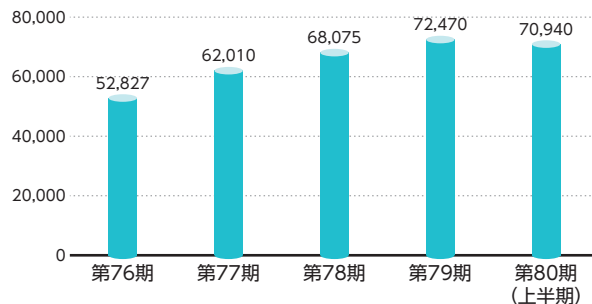
総資産

(単位：百万円)



純資産

(単位：百万円)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期 (2023年3月31日現在)	当上半期 (2023年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	54,867	47,795
固定資産	36,606	40,847
有形固定資産	23,077	24,142
無形固定資産	704	762
投資その他の資産	12,823	15,942
資産合計	91,474	88,643
負債の部		
流動負債	17,650	15,784
固定負債	1,353	1,918
負債合計	19,003	17,702
純資産の部		
株主資本	69,713	67,095
資本金	2,919	2,919
資本剰余金	3,681	3,681
利益剰余金	64,236	64,153
自己株式	△1,124	△3,660
その他の包括利益累計額	2,756	3,845
その他有価証券評価差額金	2,127	3,260
繰延ヘッジ損益	66	—
為替換算調整勘定	152	208
退職給付に係る調整累計額	409	376
純資産合計	72,470	70,940
負債及び純資産合計	91,474	88,643

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前上半期 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当上半期 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	33,677	32,285
売上原価	26,507	25,161
売上総利益	7,170	7,123
販売費及び一般管理費	4,992	5,205
営業利益	2,178	1,918
営業外収益	391	582
営業外費用	128	149
経常利益	2,441	2,351
特別利益	1,343	260
特別損失	125	265
税金等調整前四半期純利益	3,659	2,345
法人税、住民税及び事業税	481	680
法人税等調整額	531	234
四半期純利益	2,646	1,430
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,646	1,430

第72回 日経広告賞「大賞」を受賞

この度、2023年7月25日および8月2日発行の「日本経済新聞 朝刊」「日経産業新聞」に、2週連続で掲載したシリーズ広告が、第72回 日経広告賞「大賞」を受賞しました。今回受賞した「大賞」は日経広告賞の全受賞作品約8,000点のうち最上位の賞となります。当社では2020年の「環境部門 最優秀賞・環境大臣賞」、2021年および2022年の「生産財・産業部門 最優秀賞」に続き、4年連続の日経広告賞の受賞となりますが、「大賞」の受賞は初となります。

本広告では、最先端の道路点検技術や環境に配慮した製品・工法を開発・提供することにより、持続可能な社会の実現に貢献する当社の企業姿勢をご紹介します。アスファルトと、ヘルマン・ヘッセ著「車輪の下」や旧約聖書 創世記 第六章に登場する「ノアの方舟」を関連付けることで、多くの皆様に興味を持っていただけるよう表現しました。



2023年7月25日 (火) 掲載広告



2023年8月2日 (水) 掲載広告

スマートフォンによる道路点検DXシステム「GLOCAL-EYEZ」※¹が 国土交通省点検支援技術性能カタログ（舗装編、道路巡視編）※²に掲載

「GLOCAL-EYEZ」は、パトロールカーにスマートフォンを取り付けて、舗装道路を撮影するだけで、日々の道路パトロールと舗装の傷み具合の点検を同時に実施できる技術です。

さらに、スマートフォンの撮影データは、AI（人工知能）解析により、パトロール結果がインターネット上で即日に確認が可能となりました。

2023年3月に国土交通省の点検支援技術性能カタログがとりまとめられました。その中で「GLOCAL-EYEZ」は、ひび割れなどの舗装点検結果と日々の道路パトロールで早期発見が必要なポットホール（穴ぼこ）の解析精度が認められ、「舗装点検」と「道路巡視」の両方の性能カタログに掲載されました。

※¹ 東京大学長山教授の研究ロジックを基にした、(株)スマートシティ技術研究所とニチレキ(株)の共同開発システム。

※² 国が求める性能値に対して一定以上の精度を有することが検証された新技術をカタログ形式でとりまとめたもの。

GLOCAL-EYEZによる舗装点検・道路巡視



□ 外部パートナーとの共同研究

X X X X X X X X X

2023年4月、ニチレキは東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センター（IMC）と共同して、同大学院に「インフラマネジメント“足すテナビリティ”^{*1} 共同研究部門」を開設しました。

この共同研究部門では地方自治体が管理する道路を主な対象として、東北大学によるデータサイエンスを中心とする情報処理技術と、当社による舗装材料の開発や道路診断等の舗装の創造技術を両輪とした、新しい道路インフラマネジメントシステムを構築します。さらに、地方自治体とも連携しつつ、構築したシステムをインフラ維持管理業務に導入するための実証を行い、広く普及を図ります。

^{*1} 長寿命やリサイクルなどのさらなる性能・機能を「プラス」した、ニチレキ独自の「サステナビリティ」。



会社の概要

商 号 ニチレキ株式会社
本 社 所 在 地 東京都千代田区九段北四丁目3番29号
設 立 1949年9月
資 本 金 29億1千9百万円
従 業 員 数 997名（連結）、456名（単体）

主な事業内容

- アスファルト応用加工製品の製造・販売、建築・土木用資材の製造加工・販売
- 道路舗装工事・防水工事・上下水道工事ならびにその他の土木工事の請負およびこれに関する調査・設計・監理
- 測量・地質調査
- コンピュータ情報サービス・ソフトウェアおよび情報処理機器の開発・販売
- 屋内外の各種表示および広告の企画・設計・施工ならびにこれらに使用する印刷物の製造および販売

取締役・監査役一覧

代表取締役社長	小 幡 学	取締役※1	渋 村 晴 子
代表取締役副社長	川 口 裕 司	取締役※1	城 處 琢 也
常務取締役	羽 入 昭 吉	取締役※1	福 田 美 詠 子
常務取締役	戸 塚 浩 行	常勤監査役	野 原 正 昭
取締役	山 本 淳	監 査 役	形 岡 昭 彦
取締役	伊 藤 達 也	監 査 役※2	蟹 谷 勉 子
取締役※1	小 林 修	監 査 役※2	川 手 典 子

※1 社外取締役であります。 ※2 社外監査役であります。

株式の状況

●発行済株式総数および株主数

発行可能株式総数 90,000,000株
発行済株式の総数※ 28,895,302株
株主数 11,269名

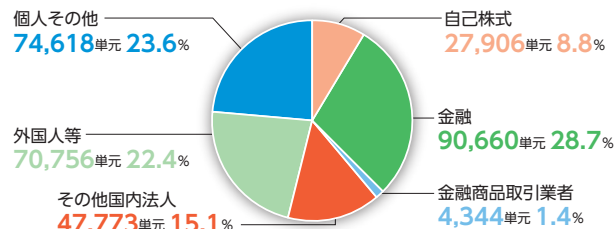
※ 自己株式2,790,653株を除く。

●大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（％）
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	3,358	11.62
MAPLES TRUSTEE SERVICES	1,378	4.77
ニチレキ取引先持株会	1,115	3.86
株式会社みずほ銀行	1,108	3.84
三井住友信託銀行株式会社	1,100	3.81
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	1,057	3.66
MSIP CLIENT SECURITIES	697	2.41
THE SFP VALUE REALIZATION	647	2.24
公益財団法人池田20世紀美術館	630	2.18
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	540	1.87

（注） 1. 当社は自己株式2,790,653株を保有しておりますが、上記には含めておりません。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



（注） 上記株式数および構成比率には、単元未満株式80,255株は含まれておりません。



ニチレキグループ 統合レポート2023を発行しました

この度、統合報告書「ニチレキグループ統合レポート2023」を発行いたしました。当レポートではニチレキグループの企業理念やビジネスモデルに加え、気候変動への対応など、時代や社会の要請に応えるグループの取り組みを紹介しつつ、2043年の創業100年に向けた中長期的なビジョンについてもお示ししております。また、トップメッセージにおいては、本年10月に創業80年を迎えるにあたってのこれまでの歩みについても振り返っております。なお、当レポートは、当社ホームページ上で公開しておりますので、ぜひご高覧ください。



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から3月31日まで
単元株式数 100株
定時株主総会 毎年6月
期末配当基準日 毎年3月31日
公告方法 電子公告
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所 168-0063
(郵便物送付先・)
(お問い合わせ先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社証券代行部
Tel.0120-782-031 (フリーダイヤル)

(お知らせ)

三井住友信託銀行株式会社のフリーダイヤルまたはホームページ

●フリーダイヤル 0120-782-031

●ホームページ <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

ご注意

▶住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

▶未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「IR情報」サイトのご案内

当社ホームページの「IR情報」サイトでは、
株主・投資家の皆様向けの情報として、
決算発表資料等を適時掲載しております。
ぜひご活用ください。



URL: <https://www.nichireki.co.jp/investors/>